



EasyMP Network Projection操作ガイド

EasyMP Network Projectionについて

EasyMP Network Projectionの機能 5

多彩な画面転送機能 5

ソフトウェアのインストール 6

ソフトウェアの動作条件 6

インストールの方法 7

コンピューターとプロジェクターの接続

2つの接続モード 9

かんたんモード 9

マニュアルモード 9

接続の準備 10

ネットワーク上のプロジェクターに接続して投写する 11

コンピューター側の操作 11

接続画面の使い方 12

ツールバーの使い方 14

サブネットの異なるプロジェクターと接続する 16

IPアドレスやプロジェクター名を指定して検索（マニュアルモードのみ）

..... 16

プロファイルを使った検索 17

プロファイルを作成する 17

プロファイルを指定して検索 18

プロファイルを管理する 19

さまざまな投写スタイル

PowerPointのスライドショーだけを投写する（プレゼンテーションモード） 22

マルチスクリーンディスプレイ機能を使う 23

仮想ディスプレイの配置例 23

マルチスクリーンディスプレイ機能を使用するまでの流れ 24

仮想ディスプレイの設定 24

仮想ディスプレイドライバを有効にする（Windowsのみ） 24

仮想ディスプレイの配置 25

投写する映像を割り当てる 29

割り当てた映像を投写する 29

付録

オプション設定の使い方 32

一般設定タブ 32

パフォーマンス調整タブ 33

音声出力タブ 33

ソフトウェアのアンインストール 35

接続時の制限事項 36

対応解像度 36

表示色 36

その他 36

Windows VistaおよびWindows 7使用時 36

Windows フォト ギャラリーまたはLive フォト ギャラリー投写時の制限

..... 37

Windows Aeroの制限 37

Windows Media Center投写時の制限 37

困ったときに 38

投写したいプロジェクターに接続できない 38

プロジェクターとコンピューターを無線LAN接続できない 38

プロジェクターとコンピューターを有線LAN接続できない 39

プロジェクターとコンピューターをネットワーク接続できない 39

EasyMP Network Projectionで接続して、映像が投写されたままになって他の

コンピューターから接続できない 40

接続モードを選択できない、切り替えられない 40

画面が投写されない 41

マルチスクリーンディスプレイ機能実行時に、任意のディスプレイへスラ

イドショーの表示ができない 41

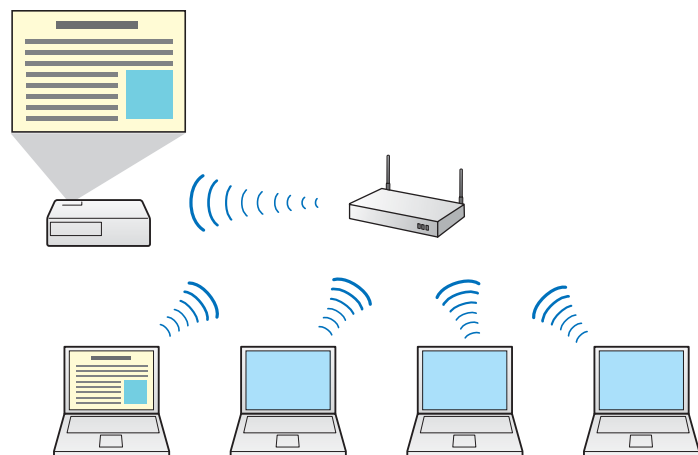
マルチスクリーンディスプレイ機能実行時に、コンピューターの画面上からアプリケーションが表示されなくなってしまう	41
マウスカーソルがコンピューターの画面上に表示されない	41
マウスカーソルがちらつく	41
EasyMP Network Projectionで接続して映像が表示されない、表示が遅い	42
EasyMP Network Projectionで接続してプロジェクターから音がでない	42
EasyMP Network Projectionで接続して使用しているときにPowerPointのスライドショーが動作しない	42
EasyMP Network Projectionで接続してOfficeアプリケーション使用時に画面が更新されない	42
エラーメッセージ一覧	43
プロジェクターと接続できない	43
EasyMP Network Projection実行時のエラーメッセージ	43
用語解説	45
一般のご注意	46
表記について	46
商標について	46
索引	47



EasyMP Network Projectionについて

ここでは、EasyMP Network Projectionの便利な機能とソフトウェアのインストールについて説明しています。

EasyMP Network Projectionを使うと、ネットワーク経由でコンピューターの画面をプロジェクターから投写できます。ネットワーク上のプロジェクターを共用して、映像ケーブルをつなぎかえることなく各自の資料を投写したり、コンピューターから距離の離れたプロジェクターに投写することができます。



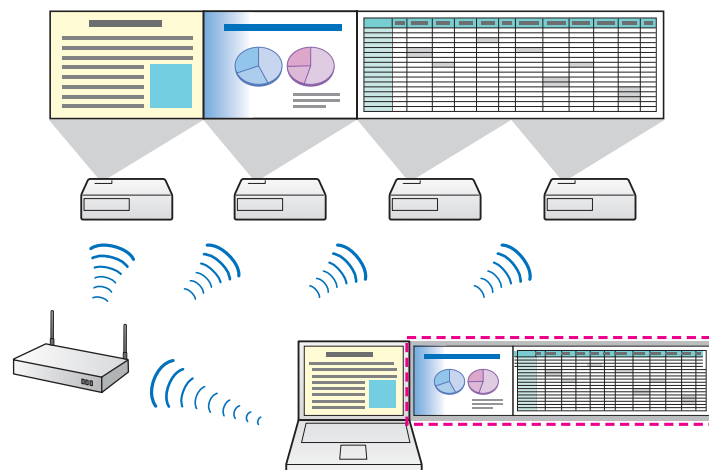
多彩な画面転送機能

次のような画面転送機能を利用できます。

- マルチスクリーンディスプレイ

☛「マルチスクリーンディスプレイ機能を使う」 [p.23](#)

1台のコンピューターから4台までのプロジェクターに、それぞれ異なる映像を投写したり、横長の帳票画面などを一覧で投写することができます。



- プレゼンテーションモード

☛「PowerPointのスライドショーだけを投写する（プレゼンテーションモード）」 [p.22](#)

プレゼンテーションモードは、PowerPointのスライドショーを実行したときのみコンピューターの画面を投写し、それ以外は黒画面を投写します。コンピューターの準備操作など見せたくない画面は投写しないので、スムーズにプレゼンテーションを開始できます。

- 分配機能

1台のコンピューターの画面を、同一のネットワークに接続された最大4台のプロジェクターに同時に投写できます。

複数のコンピューターから1台のプロジェクターに同時に接続することはできません。

EasyMP Network Projectionは、EPSON Projector Software CD-ROM に収録されています。ソフトウェアをお使いのコンピューターにインストールしてください。

ソフトウェアの動作条件

EasyMP Network Projectionは、以下の条件を満たすコンピューターで動作します。

Windowsの場合

OS	Windows 2000 Service Pack 4 以下の32ビット版OS： Windows XP Windows XP Service Pack 2 以降 Windows Vista Windows Vista Service Pack 1 以降 Windows 7 Windows 7 Service Pack 1 以下の64ビット版OS： Windows 7 Windows 7 Service Pack 1
CPU	Mobile Pentium III 1.2GHz以上 推奨：Pentium M 1.6GHz以上
メモリー容量	256MB以上 推奨：512MB以上
ハードディスク空き容量	20MB以上
ディスプレイ	XGA(1024x768)以上、UXGA(1600x1200)以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色(約32000色の表示色)

Mac OSの場合

OS	以下の32ビット版OS： Mac OS X 10.4.x Mac OS X 10.5.1 以上※ Mac OS X 10.6.x Mac OS X 10.7.x 以下の64ビット版OS： Mac OS X 10.6.x Mac OS X 10.7.x
CPU	PowerPC G3 900MHz以上 推奨：CoreDuo 1.83GHz以上
メモリー容量	256MB以上 推奨：512MB以上
ハードディスク空き容量	20MB以上
ディスプレイ	XGA(1024x768)以上、UXGA(1600x1200)以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色(約32000色の表示色)

※ Mac OS X 10.5.0はバージョンアップ時にファイアウォールの設定が正しく行われないため動作保証の対象外です。

インストールの方法

起動中のアプリケーションをすべて終了してからインストールを行ってください。



EMP NS Connectionをお使いの方へ

EMP NS Connectionは名前が変更になりました。

変更前: EMP NS Connection

変更後: EasyMP Network Projection

EMP NS Connectionと同様の機能をお使いになるときは、EMP NS Connectionをアンインストールしてから、必ずEasyMP Network Projectionをインストールしてください。機種により、EMP NS Connectionではプロジェクターと正しく接続できません。

Windowsの場合



コンピューターにEasyMP Network Projectionをインストールするには、管理者権限が必要です。

- 1 コンピューターの電源を入れます。
- 2 コンピューターにEPSON Projector Software CD-ROMをセットします。

自動的にセットアッププログラムが起動します。



自動でインストールを開始しないときは、[マイコンピュータ] (または [コンピュータ]) からCD-ROMドライブを開き、[EMP_NSCInst.exe] をダブルクリックします。

- 3 画面の指示に従って、インストールしてください。

Mac OSの場合

- 1 コンピューターの電源を入れます。
- 2 コンピューターにEPSON Projector Software CD-ROMをセットします。
- 3 EPSONウィンドウでEMP_NPInstaller.mpkgアイコンをダブルクリックします。
インストールが開始します。
- 4 画面の指示に従って、インストールしてください。



EasyMP Network Projectionの最新バージョンは以下のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/download/>



コンピューターとプロジェクターの接続

コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続して、コンピューターの画面映像をプロジェクターで投写する手順を説明しています。

EasyMP Network Projectionでコンピューターとプロジェクターをネットワーク接続するには、以下の2通りの接続モードがあります。



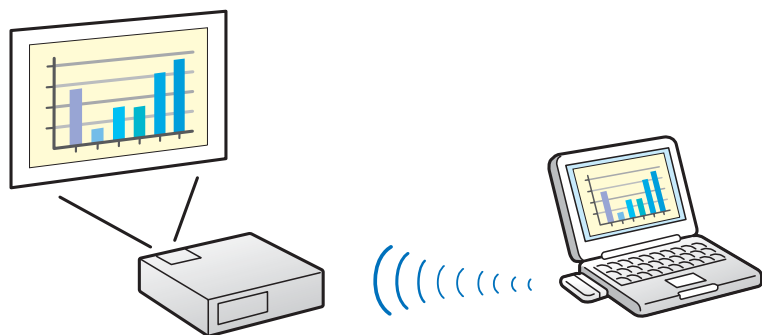
- 機種により、有線LAN接続または無線LAN接続のどちらかが使用できないことがあります。
- 無線LANで接続するには、無線LANユニットが必要です。
無線LANユニットが同梱されていない機種の場合は、オプション品をご用意ください。オプション品について詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。

 [『取扱説明書』](#)[「オプション・消耗品一覧」](#)

かんたんモード

プロジェクターに無線LANユニットを装着しているときに限り、かんたんモードは実行できます。

かんたんモードは、プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続します。無線LANのアクセスポイントを経由しないため、煩雑なネットワーク設定をせずにコンピューターの画面を投写できます。

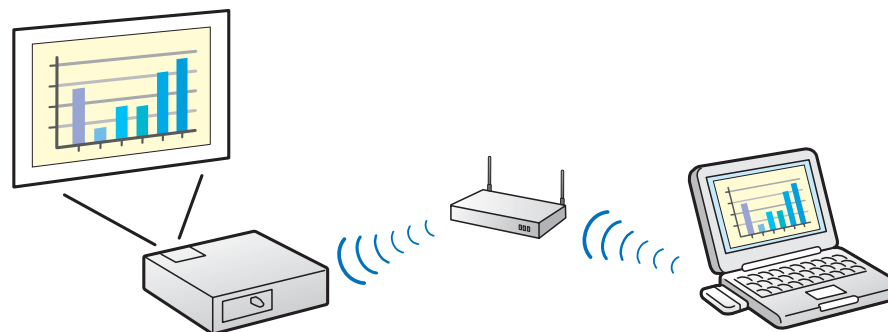


マニュアルモード

マニュアルモードはインフラストラクチャー接続で、すでに構築されているネットワークシステムに接続する方法です。

マニュアルモードでは、プロジェクターとコンピューターをアクセスポイント経由で接続します。

有線LANでネットワークに接続するときは、市販のLANケーブルでプロジェクターをネットワークハブなどに接続します。



接続の準備

EasyMP Network Projectionでコンピュータとプロジェクターをネットワーク接続するための準備をします。

- 1 接続するコンピュータにEasyMP Network Projectionをインストールします。

☞ 「インストールの方法」 [p.7](#)

- 2 コンピューターのネットワーク設定を行い、ネットワークに接続できる状態にします。

コンピューターのネットワーク設定について詳しくは、コンピューターまたはお使いのLANアダプター、AirMacカードの取扱説明書をご覧ください。



普段コンピューターをネットワークに接続して使っているときは、コンピューターのネットワーク設定は不要です。

- 3 **かんたんモードの場合**

プロジェクターに無線LANユニットを取り付けます。

マニュアルモードの場合

プロジェクターのネットワーク設定を行い、ネットワークに接続できる状態にします。

ネットワーク設定はプロジェクターの[ネットワーク]メニューから行います。

詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。

☞ 『取扱説明書』[「ネットワークメニュー」](#)

- 4 リモコンの【LAN】ボタンを押します。

LAN待機画面が表示されます。

なお、現在の入力ソースが無信号の場合は、【LAN】ボタンを押さなくても、コンピューターと接続したときに自動でLANソースに切り替わります。



- 5 コンピューターでEasyMP Network Projectionを起動して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

☞ 「ネットワーク上のプロジェクターに接続して投写する」
[p.11](#)



接続に関するトラブルが生じると、トラブルの内容を示す番号が以下のように表示されます。

Event ID : 04xx

Event IDについて詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。

☞ 『取扱説明書』[「Event IDについて」](#)

コンピューター側の操作

以降の説明では、断りのない限りWindowsの画面を載せています。Mac OSでも同様の画面が表示されます。

1 EasyMP Network Projectionを起動します。

Windowsの場合

[スタート] - [プログラム] (または[すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [EasyMP Network Projection] - [EasyMP Network Projection V2.XX]の順に選択します。

Mac OSの場合

[アプリケーション]フォルダーから [EasyMP Network Projection] をダブルクリックします。

2 [かんたんモード]または[マニュアルモード]を選択して、[OK]をクリックします。

☛ 「2つの接続モード」 [p.9](#)

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。今回選択した接続方法を次回以降も使用するときには、[選択した接続モードを次回以降のデフォルト設定とする。]にチェックを付けます。

3 接続するプロジェクターにチェックを付け、[接続する]をクリックします。

万一、接続したいプロジェクターが検索されないときには、[自動検索]をクリックします。検索には30秒程度かかります。接続画面の詳細は以下をご覧ください。

☛ 「接続画面の使い方」 [p.12](#)

4 プロジェクター側でプロジェクターキーワードを[オン]にしているときは、キーワードを入力する画面が表示されます。LAN待機

画面に表示されているキーワードを入力し、[OK]をクリックします。

接続が完了すると、コンピューター画面の映像が投写されます。コンピューターの画面には次のようなEasyMP Network Projectionのツールバーが表示されます。このツールバーを使って、プロジェクターの操作や設定をしたり、ネットワーク接続を切断することができます。ツールバーの詳細は以下をご覧ください。

☛ 「ツールバーの使い方」 [p.14](#)



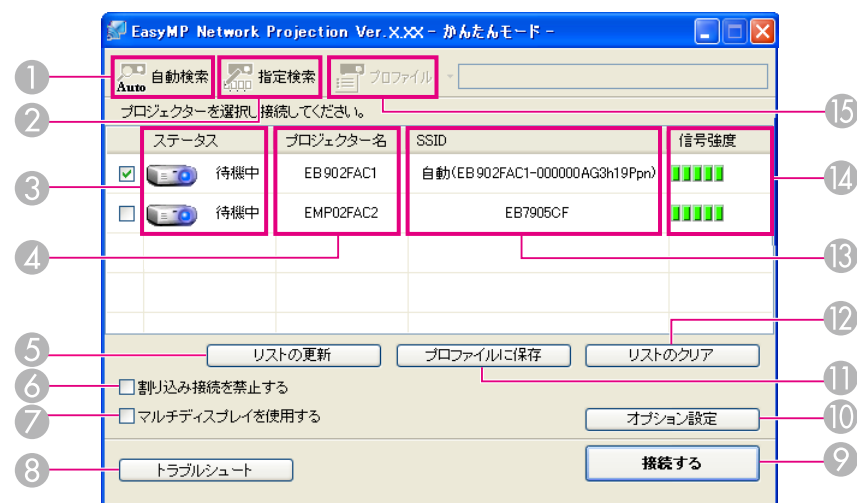
プレゼンターの交代など、引き続き別のコンピューターから接続する場合は、接続したいコンピューターでEasyMP Network Projectionを起動してください。接続中のコンピューターと接続が自動的に切断され、後から接続しようとしたコンピューターと接続します。

[割り込み接続を禁止する]にチェックを付けているときは、別のコンピューターから接続できません。

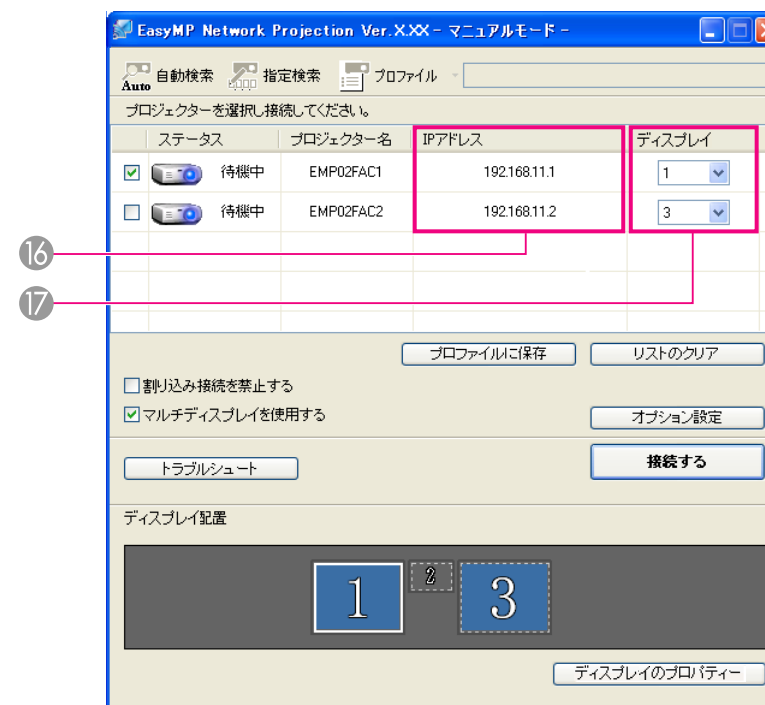
接続画面の使い方

EasyMP Network Projectionを起動すると以下の画面が表示されます。各ボタンや項目の働きは以下のとおりです。

かんたんモードで起動したとき



マニュアルモードで起動したとき



- ①  [自動検索]
かんたんモード時は、SSIDによりプロジェクターを検索します。マニュアルモード時は、コンピューターが接続しているネットワークシステムの中で接続可能なプロジェクターを検索します。
- ②  [指定検索]
かんたんモード時は、SSIDの一覧から選んでプロジェクターを検索します。
マニュアルモード時は、プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索します。
- ③ [ステータス]
次の6種類のアイコンで、検索されたプロジェクターの状態をお知らせします。

	待機中	選択できます。
	使用中	選択できます。[接続する]をクリックすると、現在接続中のコンピューターを切断してから接続します。
	使用中(割り込み禁止)	選択できません。他のコンピューターで[割り込み接続を禁止する]を設定して接続中です。
	他アプリ使用中	プロジェクターが環境設定メニューを表示中です。環境設定メニューを終了してから検索し直すと選択できます。
	検索中	指定検索やプロファイルの検索中に表示されます。
	見つかりません	指定検索やプロファイルを実行した結果、見つからなかったときに表示します。かんたんモード時は、SSIDが同じものに限り複数のプロジェクターを選択できます。

- ④ [プロジェクター名]
プロジェクターの名前が表示されます。
- ⑤ [リストの更新](かんたんモードのみ)
ステータスや信号強度を最新の状態に更新します。
- ⑥ [割り込み接続を禁止する]
選択したプロジェクターと接続中に、他のコンピューターからの接続を禁止するときにチェックを付けます。
- ⑦ [マルチディスプレイを使用する]
マルチスクリーンディスプレイ機能を使用するとき、チェックマークを付けます。チェックマークを付けると画面の下側に、ディスプレイ配置とディスプレイのプロパティが表示されます。
☛「マルチスクリーンディスプレイ機能を使う」[p.23](#)
- ⑧ [トラブルシュート]
困ったときや、接続できないときにこのボタンを押すと、EasyMP Network Projectionトラブルシュート画面が開きます。

- ⑨ [接続する]
検索結果の一覧で選択したプロジェクターと接続します。プロジェクターと接続すると、ツールバーが表示されます。
- ⑩ [オプション設定]
EasyMP Network Projection起動時の処理方法などを設定します。
☛「オプション設定の使い方」[p.32](#)
- ⑪ [プロファイルに保存]
ネットワーク上のプロジェクターを検索した結果を、プロファイルとして保存します。
☛「プロファイルを作成する」[p.17](#)
- ⑫ [リストのクリア]
検索結果の一覧をすべて消去します。
- ⑬ [SSID](かんたんモードのみ)
プロジェクターのSSIDが表示されます。
- ⑭ [信号強度](かんたんモードのみ)
信号強度が強いほど、点灯しているインジケーターの数が多くなります。
- ⑮  [プロファイル]
[プロファイルに保存]を実行して保存したプロファイルを使ってネットワーク上のプロジェクターを検索します。
☛「プロファイルを使った検索」[p.17](#)
- ⑯ [IPアドレス](マニュアルモードのみ)
プロジェクターのIPアドレスが表示されます。
- ⑰ [ディスプレイ]
([マルチディスプレイを使用する]にチェックしたとき)ディスプレイ番号を選択します。
☛「割り当てた映像を投写する」[p.29](#)

ツールバーの使い方

EasyMP Network Projectionを起動してプロジェクターと接続すると、コンピュータの画面にツールバーが表示されます。このツールバーを使ってプロジェクターの操作や設定ができます。



〔操作対象プロジェクターの選択〕

分配機能やマルチスクリーンディスプレイで複数台のプロジェクターと接続して投写中に、ツールバーから操作するプロジェクターを限定するときにクリックします。アイコン下の表示は、操作対象となっているプロジェクターを示しています。ALLは接続しているプロジェクターすべてが操作対象となっていることを示しています。1,3など数字が表示されているときは、接続しているプロジェクターのうちNo.1と3が操作対象となっていることを示しています。

 をクリックすると以下の画面が表示されます。



- ① 操作対象としたいプロジェクターを選択します。
- ② 割り当てられたプロジェクターNo.を表示しています。このNo.がツールバーの操作対象プロジェクターNo.としてアイコンに表示されます。

③ プロジェクターの状態を示しています。



〔停止〕

プロジェクターと接続したまま投写を停止します。停止中は、黒画面が投写されます。



〔表示〕

停止や一時停止を解除します。



〔一時停止〕

プロジェクターと接続したまま、投写中の映像の動きを一時的に停止します。



〔プレゼンテーションモード〕

クリックするたびにプレゼンテーションモードが有効/無効になります。

☛「PowerPointのスライドショーだけを投写する（プレゼンテーションモード）」[p.22](#)



〔プロジェクター制御〕

ネットワークに接続したまま、プロジェクター機能のA/Vミュート、PCソース切替、Videoソース切替がリモコンや本体の操作パネルからの操作と同様に行えます。



をクリックすると、以下のツールバーが表示されます。



4

5

6



④〔A/Vミュート〕

映像と音声を一時的に消去/解除します。



⑤〔PCソース切替〕

映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。



⑥ [Videoソース切替]

ビデオの入力端子からの映像に切り替えます。

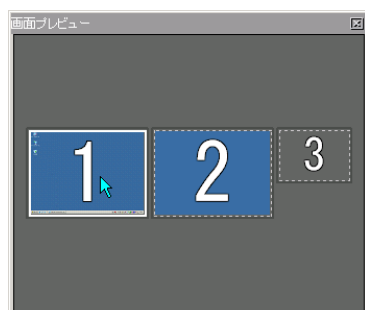


[画面プレビュー]

マルチスクリーンディスプレイのプレビュー画面を表示します。



をクリックすると、設定されているディスプレイの配置がプレビュー表示されます。各ディスプレイをクリックすると、画面プレビューウィンドウ全体に拡大表示されます。



[オプション設定]

コンピューターの映像を送信するときの送信パフォーマンスを調整できます。

☞「オプション設定の使い方」[p.32](#)



[動画再生モード]

動画ファイルを直接再生するときに使います。動画再生に対応していないプロジェクターでは「動画再生を行えるプロジェクターに接続されていません。」とメッセージが表示されます。



[切断する]

プロジェクターとの接続を終了します。



[信号強度] (かんたんモードのみ)

かんたんモードで接続したときに表示されます。信号強度が強いほど、点灯しているインジケータの数が増えます。



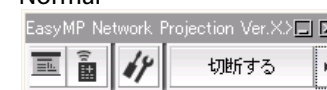
ツールバー表示切り替え

ツールバーの表示を以下のように切り替えられます。ツールバーの表示状態は、次に切り替えるまで保存されます。

Full



Normal



Simple



離れた場所にある(サブネットの異なる)プロジェクターとコンピューターを接続して、画面を投写できます。

自動検索では、同一のサブネット内でのみプロジェクターを検索するため、サブネットの異なる場所にあるプロジェクターは見つかりません。

離れた場所にあるプロジェクターと接続するには、以下の方法があります。

- IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する
IPアドレスを直接入力して検索できます。また、接続したいプロジェクター名がDNSサーバーに登録されているときはそのプロジェクター名を入力して検索することもできます。
☞「IPアドレスやプロジェクター名を指定して検索（マニュアルモードのみ）」 [p.16](#)
- プロファイルを使って検索する
一度IPアドレスやプロジェクター名を指定してサブネットの異なるプロジェクターを検索した結果を、分かりやすい名前でもプロファイルとして保存しておく、次回からはそのプロファイルを使ってサブネットの異なるプロジェクターを検索できるようになります。
☞「プロファイルを使った検索」 [p.17](#)



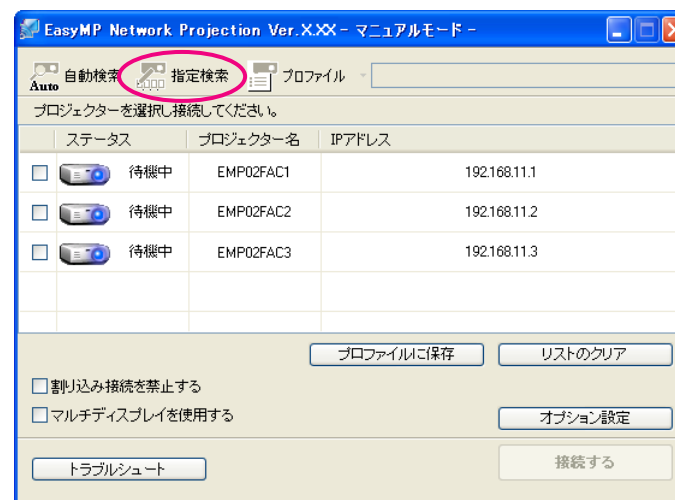
- プロジェクターが見つからない一般的な原因については、以下をご覧ください。
☞「困ったときに」 [p.38](#)
- かんたんモードで指定検索を使うとSSIDを指定できます。プロジェクターが多いときに検索対象をSSIDで絞り込むことができます。

IPアドレスやプロジェクター名を指定して検索(マニュアルモードのみ)

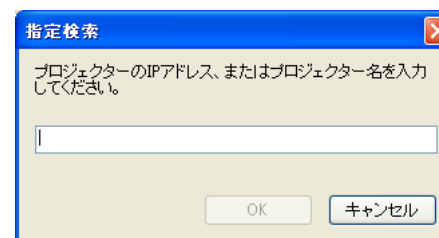
以降の説明では、断りのない限りWindowsの画面を載せています。

Mac OSでも同等の画面が表示されます。

- 1 EasyMP Network Projectionのプロジェクター選択画面で、[指定検索]をクリックします。



- 2 接続したいプロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を入力して[OK]をクリックします。



EasyMP Network Projectionのプロジェクター選択画面に検索結果が表示されます。

目的のプロジェクターが見つかったら、そのプロジェクターを選択し、[接続する]をクリックして接続してください。

プロジェクター情報をプロファイルに保存しておく、次回からはIPアドレスやプロジェクター名を指定しなくてもプロジェクターを検索できます。

☛「プロファイルを作成する」 p.17

プロファイルを使った検索

よく使うプロジェクターは、プロファイルとして保存することができます。プロファイルとはプロジェクター名、IPアドレス、SSIDといったプロジェクター情報をひとまとめにしたファイルです。検索時にプロファイルを指定すると、IPアドレスやプロジェクター名を指定しなくてもプロジェクターを検索できます。例えば、プロジェクターを設置している場所ごとにプロファイルのグループを作って、フォルダーで管理すると目的のプロジェクターを素早く見つけることができます。

ここでは、プロファイルの作成、編集方法を説明します。

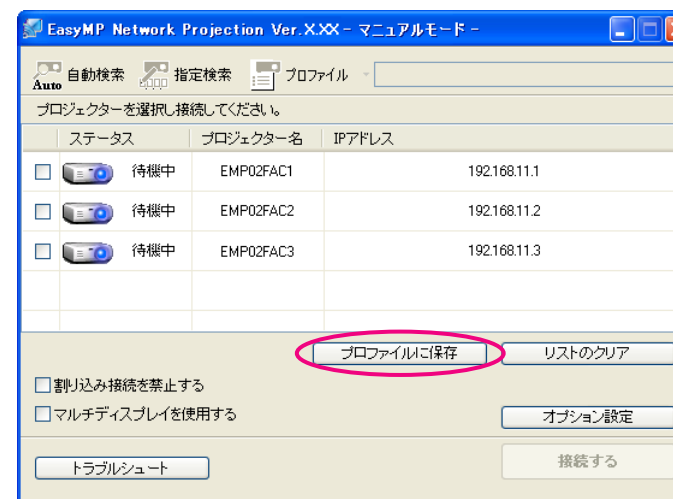
プロファイルを作成する

プロファイルは、検索した結果を保存して作成します。

いったん保存したプロファイルの編集は次を参照してください。

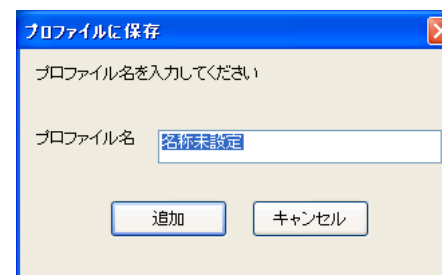
☛「プロファイルを管理する」 p.19

- 1 EasyMP Network Projectionプロジェクター選択画面にプロジェクターが表示された状態で、[プロファイルに保存]をクリックします。



プロファイルに保存画面が表示されます。

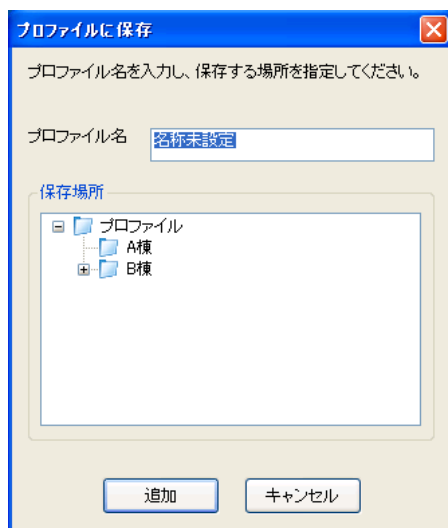
- 2 プロファイル名を入力し、[追加]をクリックします。



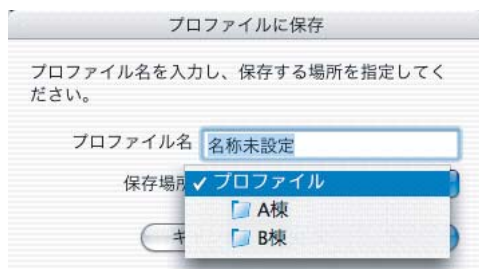
プロファイルにプロジェクター情報が登録されます。すでにプロファイルを作成していた場合は、上書きしてよいか確認します。別名で保存したいときは、[別名で保存]を選べます。なお、プロファイルにフォルダーを作成しているときは以下の画

面が表示されますので、プロファイル名を入力し、[保存場所]を選択してから[追加]をクリックします。

Windowsの場合



Mac OSの場合



プロファイルにフォルダーを作成する方法は次を参照してください。

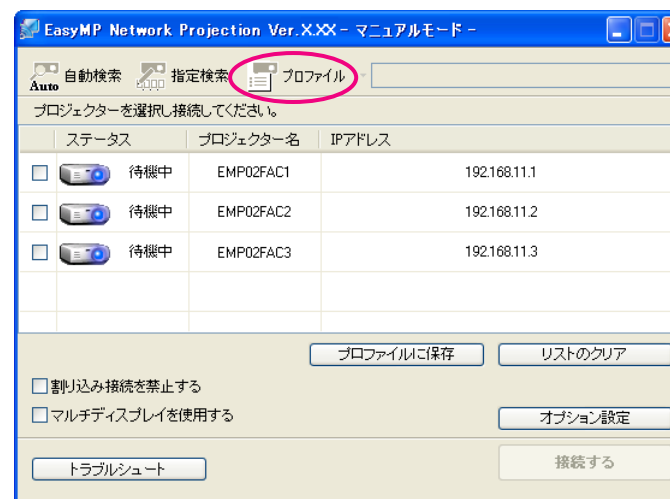
☞「プロファイルを管理する」 p.19

プロファイルを指定して検索

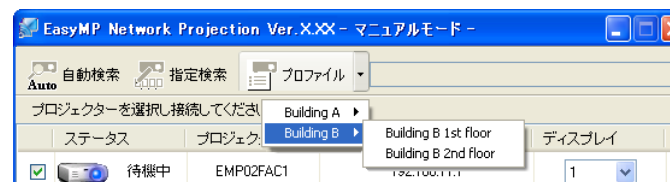
作成したプロファイルを指定して検索します。

- 1 EasyMP Network Projectionのプロジェクター選択画面で、[プロファイル]をクリックします。

プロファイルが登録されていないときは、[プロファイル]は選択できません。



- 2 表示されたメニューから、接続したいプロジェクターを選択します。



EasyMP Network Projectionのプロジェクター選択画面に検索結果が表示されます。

目的のプロジェクターが見つかったら、そのプロジェクターを選択し、[接続する]をクリックして接続してください。

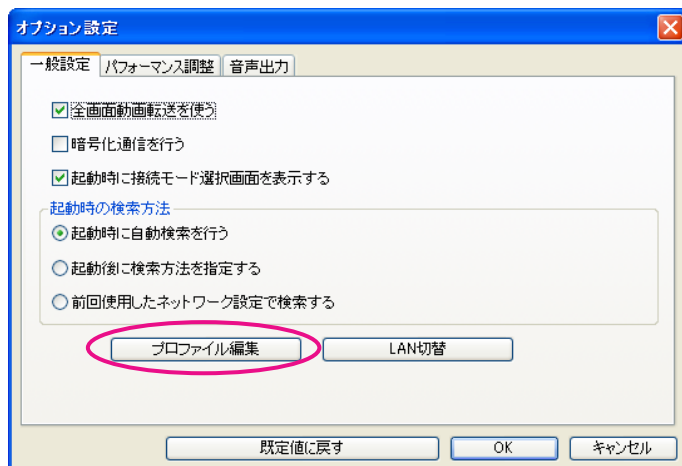
プロファイルを管理する

プロファイルの名称や階層構成を変更します。

- 1 EasyMP Network Projectionのメイン画面で[オプション設定]をクリックします。

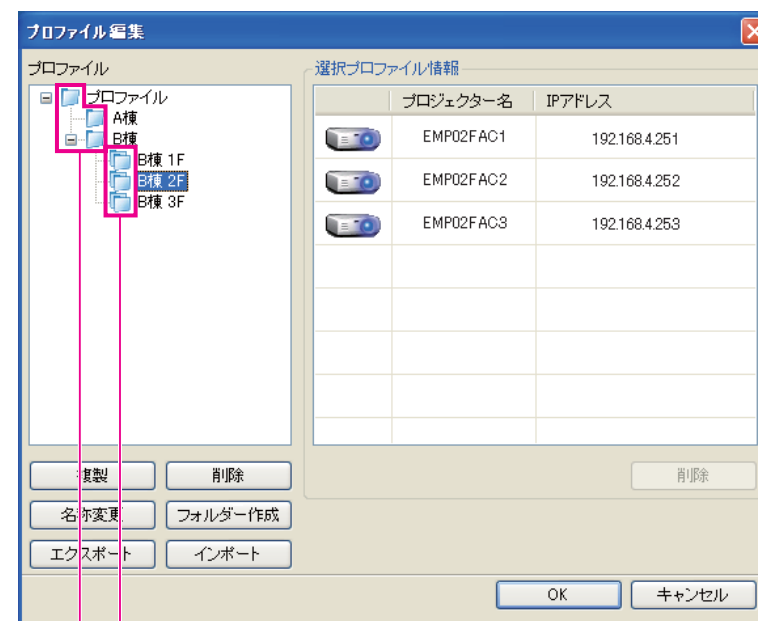
オプション設定画面が表示されます。

- 2 [プロファイル編集]をクリックします。



プロファイル編集画面が表示されます。

- 3 プロファイルの登録内容を編集します。



- ① : プロファイルを示しています。
- ② : フォルダーを示しています。

プロファイル	
項目	機能
プロファイル	登録されているプロファイルが表示されます。フォルダーを作成して管理できます。
複製	プロファイルを複製します。複製したプロファイルは、複製元ファイルの名称と同じ名称で複製元のファイルと同じフォルダーに保存されます。
削除	プロファイル、またはフォルダーを削除します。

プロファイル	
項目	機能
名称変更	名称変更ダイアログが表示され、フォルダー名、またはプロファイル名を変更できます。名称変更ダイアログで入力できる文字数は32文字までです。
フォルダー作成	新しいフォルダーを作成します。
エクスポート	プロファイルを出力します。出力したプロファイルは、バックアップとして保存したり、他のコンピュータにインポートして利用できます。
インポート	エクスポートで出力したプロファイルを読み込みます。

選択プロファイル情報	
項目	機能
プロジェクター名	プロファイルに登録されているプロジェクター情報が表示されます。
SSIDまたはIPアドレス	
削除	選択したプロジェクター情報を削除します。すべてのプロジェクター情報を削除するとプロファイルも削除されます。

4 [OK]をクリックします。

編集した結果を保存してプロファイル編集画面を閉じます。



さまざまな投写スタイル

1台のコンピューターから複数のプロジェクターへ多様な画面を投写するマルチスクリーンディスプレイ機能など、会議やプレゼンテーションを多彩にする便利な機能の使い方を説明しています。

プレゼンテーションモードは、PowerPointのスライドショーを実行したときのみコンピューターの画面を投写し、それ以外は黒画面を投写します。コンピューターの準備操作など見せたくない画面は投写しないので、スムーズにプレゼンテーションを開始できます。

Mac OSではPowerPointのほかKeynoteもプレゼンテーションモードに対応しています。

プレゼンテーションモードの有効・無効を切り替えるには、ツールバーの  ボタンをクリックします。

☞ 「ツールバーの使い方」 [p.14](#)

マルチスクリーンディスプレイは、1台のコンピューターに複数台のプロジェクターを接続して多様な画面を投写できます。

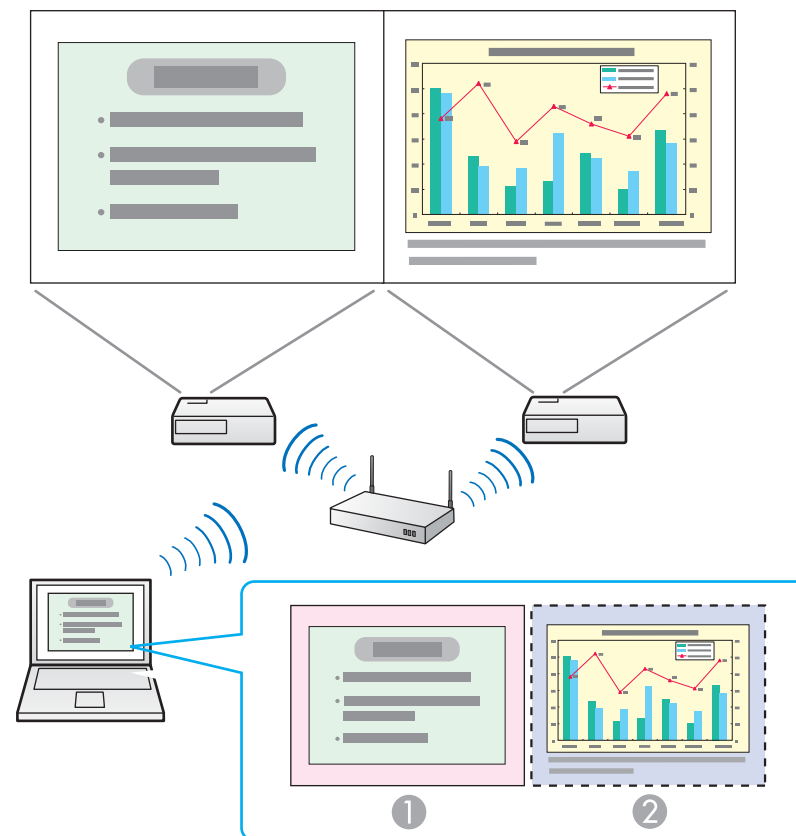
Windowsの場合は、コンピューターに複数の仮想ディスプレイ▶ドライバーを設定し、それぞれの映像をプロジェクターで投写できます。なおWindows VistaおよびWindows 7では、仕様上この機能は使用できません。

Mac OS の場合は、マルチスクリーンディスプレイ機能を使用するにはコンピューターに実際に外付けのモニターを接続しておく必要があります。以降の説明で仮想ディスプレイとある箇所は、Mac OSの場合実際に接続されているモニター画面に対する操作となります。

仮想ディスプレイの配置例

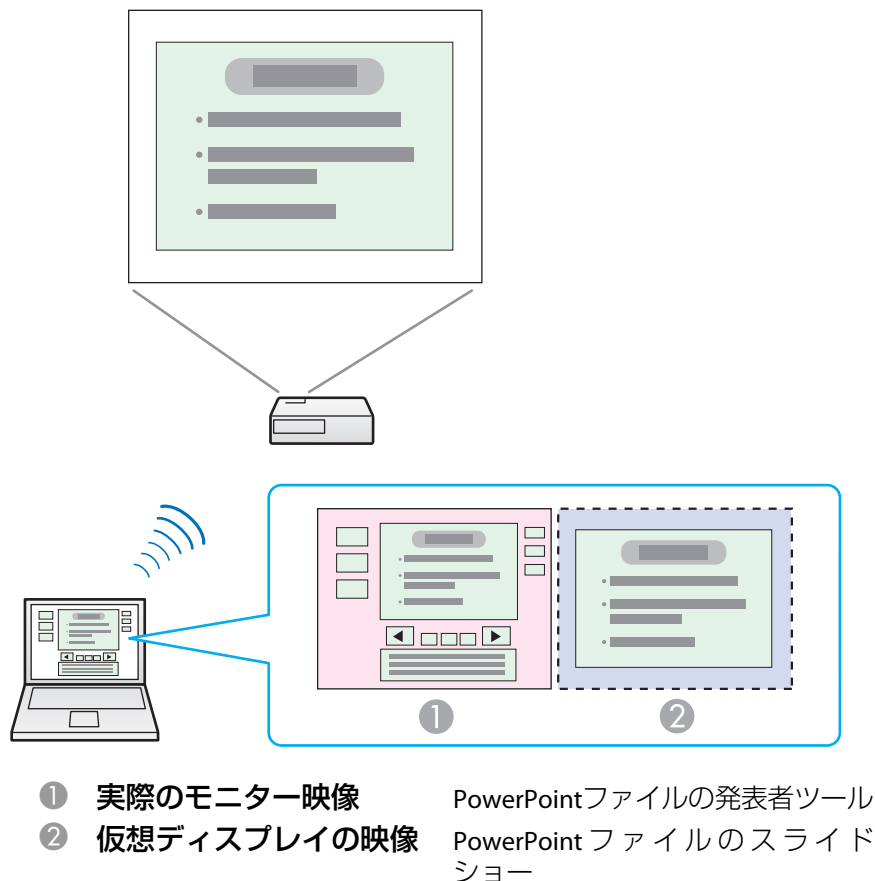
仮想ディスプレイ▶の配置を工夫することで、プレゼンテーションを行うときに見せたい映像だけをプロジェクターに投写したり、左右で違った映像を配置して投写することができます。

配置例1



- | | |
|---------------|----------------|
| ① 実際のモニター映像 | PowerPointファイル |
| ② 仮想ディスプレイの映像 | Excelファイル |

配置例2



マルチスクリーンディスプレイ機能を使用するまでの流れ

- 1 仮想ディスプレイを設定します。
 ☛ 「仮想ディスプレイの設定」 [p.24](#)
 Windows環境では、必要に応じ仮想ディスプレイ▶ドライバーを有効にします。また、Windows、Mac OSとも仮想ディスプレイの配置を設定します。
- 2 投写する映像を割り当てます。
 ☛ 「投写する映像を割り当てる」 [p.29](#)
 投写するファイルを起動し、実際に投写する配置に合わせて仮想ディスプレイに画面を移動します。
- 3 割り当てた映像を投写します。
 ☛ 「割り当てた映像を投写する」 [p.29](#)
 プロジェクターに仮想ディスプレイの番号を割り当てて投写します。

仮想ディスプレイの設定

ここでは仮想ディスプレイの配置例1を例に説明します。

☛ 「仮想ディスプレイの配置例」 [p.23](#)

仮想ディスプレイドライバーを有効にする(Windowsのみ)

仮想ディスプレイ▶のドライバーを有効にします。EasyMP Network Projectionインストール時に仮想ディスプレイを有効にした場合は、この操作は不要です。次の設定に進んでください。

☞「仮想ディスプレイの配置」 p.25

- 1 **【スタート】 - 【プログラム】(または【すべてのプログラム】) - 【EPSON Projector】 - 【EasyMP Network Projection】 - 【Virtual Displayの追加と削除】の順に選択します。**

Virtual Displayの追加と削除の画面が表示されます。



- 2 **使用する仮想ディスプレイにチェックを付けます。**

実際のモニターに加えて4つまで追加できます。ここでは、仮想ディスプレイを1つ使うので1つにチェックマークを付けます。仮想ディスプレイを複数設定するときは必要な数だけチェックを付けます。

チェックを付ける番号はどれでもかまいません。

- 3 **【OK】をクリックします。**

【OK】をクリックすると、仮想ディスプレイを使用するためのドライバが有効になります。途中で画面がちらつきますが異常ではありません。Virtual Displayの追加と削除の画面が閉じるまでしばらくお待ちください。

仮想ディスプレイの配置

EasyMP Network Projectionを起動し、仮想ディスプレイを配置する方法をWindowsの場合とMac OSの場合で分けて説明します。



無線LANで接続するときは、EasyMP Network Projectionを起動する前に、以下の点を確認してください。以下の点が正しく設定されていないとマルチスクリーンディスプレイを行うことはできません。

- コンピューターと各プロジェクターのSSIDが一致している。(かんたんモードの場合)
- コンピューターと各プロジェクターの無線LAN方式が一致している。

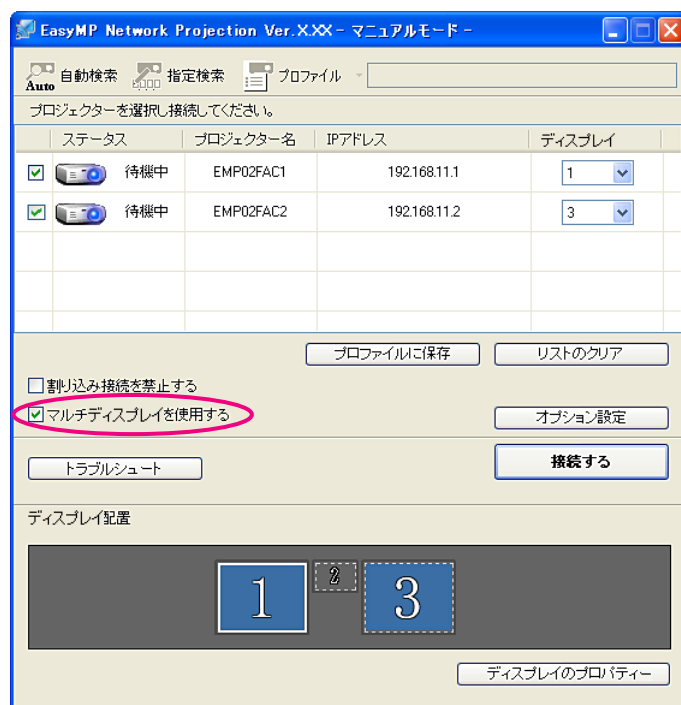
プロジェクターのSSIDや無線LAN方式は、プロジェクターの[ネットワーク]メニューで変更できます。

詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。

☞ **『取扱説明書』『ネットワークメニュー』**

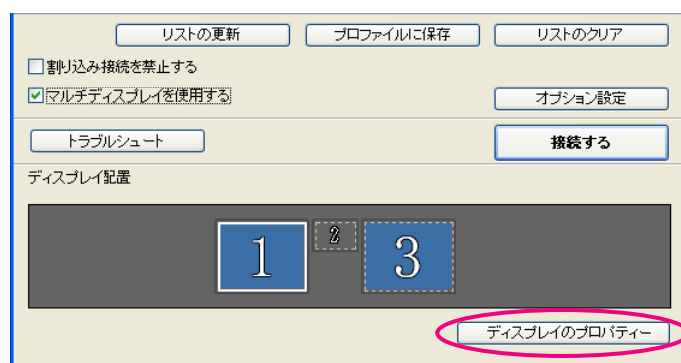
Windowsの場合

- 1 **【スタート】 - 【プログラム】(または【すべてのプログラム】) - 【EPSON Projector】 - 【EasyMP Network Projection】 - 【EasyMP Network Projection V2.XX】の順に選択し、EasyMP Network Projectionを起動します。**
- 2 **【かんたんモード】または【マニュアルモード】を選択して、【OK】をクリックします。**
- 3 **【マルチディスプレイを使用する】にチェックマークを付けます。**



画面の下側にディスプレイ配置とディスプレイのプロパティが追加表示されます。

4 [ディスプレイのプロパティ]をクリックします。



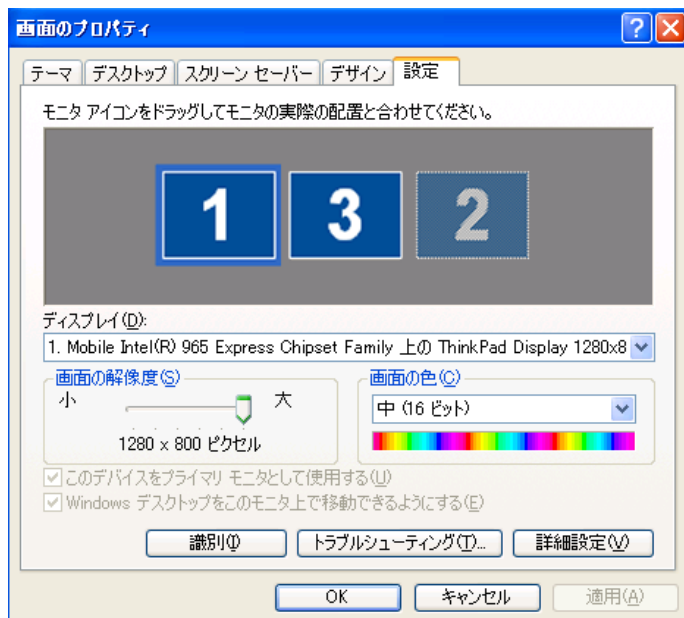
画面のプロパティ画面が表示されます。

5 [設定]タブをクリックします。



6 表示されているモニターアイコンをドラッグしてどのように配置するかを決めます。

ここでは、実際のモニター(1)を左側に、仮想ディスプレイ(3)を右側に配置します。
コンピュータにディスプレイ出力端子が複数あるときは、仮想ディスプレイの番号はそれに続く番号が割り当てられます。



- セカンダリーモニターとして外付けのモニターを接続しているときには、その画面の映像は投写できません。
- ハードウェアによってはセカンダリーモニターが(2)にならないことがあります。モニターアイコンを配置するときは、そのアイコンをクリックし、ディスプレイのモニター種別がセカンダリーモニターになっていないことを確認してください。
- 画面の解像度の設定は次を参照してください。
 「対応解像度」 [p.36](#)

モニターアイコンを配置すると以下のようなイメージで仮想ディスプレイが接続されます。

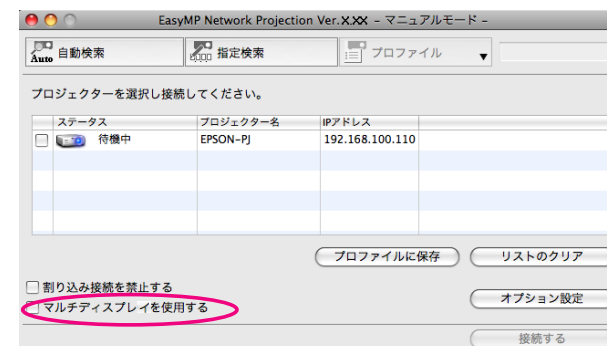


- 7** [OK]をクリックして画面のプロパティ画面を閉じます。
 続いて投写する映像を割り当てます。

 「投写する映像を割り当てる」 [p.29](#)

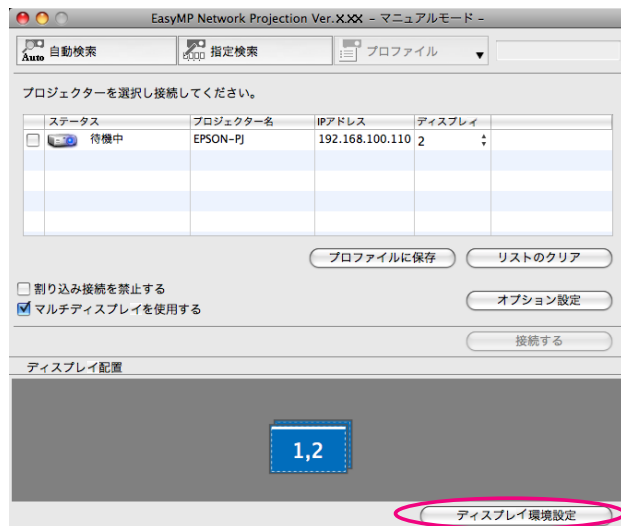
Mac OSの場合

- 1** [アプリケーション]フォルダーから [EasyMP Network Projection]をダブルクリックし、EasyMP Network Projectionを起動します。
- 2** [かんたんモード]または[マニュアルモード]を選択して、[OK]をクリックします。
- 3** [マルチディスプレイを使用する]にチェックマークを付けます。



画面の下側にディスプレイ配置とディスプレイ環境設定が追加表示されます。

4 [ディスプレイ環境設定]をクリックします。

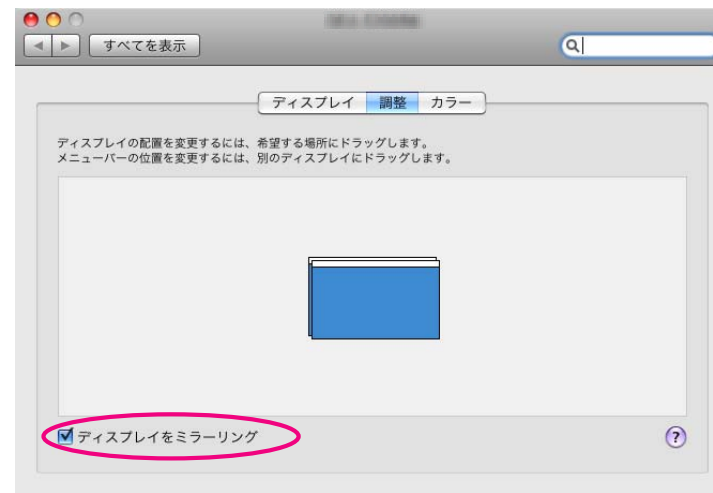


ディスプレイの設定画面が表示されます。

5 [調整]をクリックします。



6 [ディスプレイをミラーリング]のチェックを外します。



7 表示されているモニターアイコンをドラッグしてどのように配置するかを決めます。



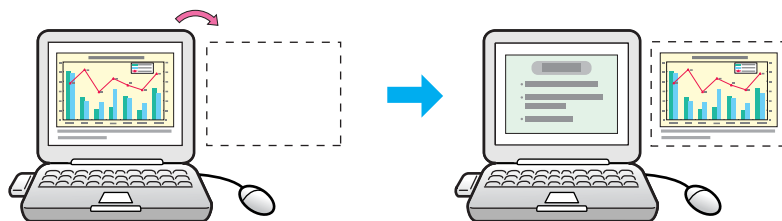
- 8 ディスプレイの設定画面を閉じます。
続いて投写する映像を割り当てます。
☛ 「投写する映像を割り当てる」 p.29

投写する映像を割り当てる

ここでは、仮想ディスプレイの配置例1を例に説明します。

☛ 「仮想ディスプレイの配置例」 p.23

- 1 投写するファイルを起動します。
PowerPointファイルとExcelファイルを起動します。
- 2 映したい仮想ディスプレイへウィンドウをドラッグして、どのウィンドウをどこに映すかを割り当てます。
Excelのウィンドウを右方向へ見えなくなるまでドラッグします。実際のモニターにPowerPointのウィンドウが、右の仮想ディスプレイにExcelのウィンドウが配置されます。

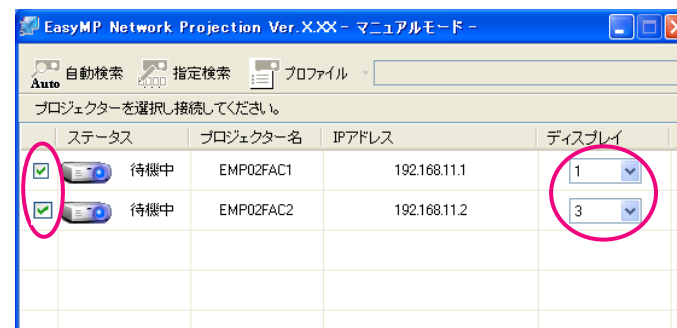


割り当てた映像を投写する

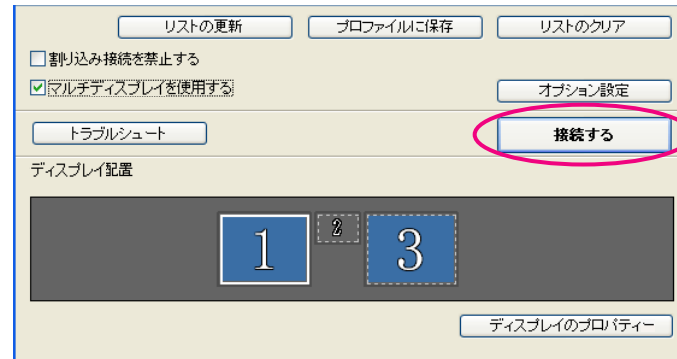
ここでは、仮想ディスプレイの配置例1を例に説明します。

☛ 「仮想ディスプレイの配置例」 p.23

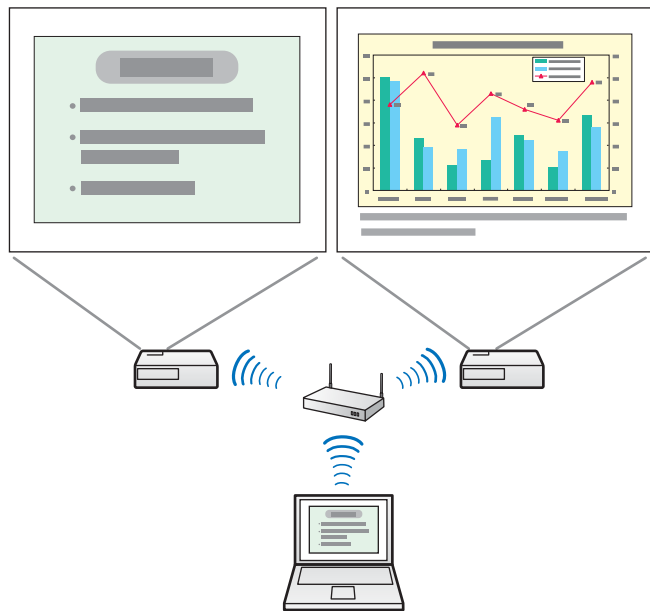
- 1 [ディスプレイ]から割り当てる仮想ディスプレイの番号を選択して、どのプロジェクターでどの仮想ディスプレイの映像を投写するのかを設定します。



- 2 [接続する]をクリックします。



各プロジェクターに割り当てた映像が投写されます。



Windows環境でお使いのときは、仮想ディスプレイに配置した画面を、コンピューター上では見ることはできません。仮想ディスプレイの画面操作は投写されている映像を見ながら行ってください。

仮想ディスプレイでのマウス操作は、仮想ディスプレイを配置している方向へマウスポインターを移動し、投写画面にマウスポインターが現れることで行えるようになります。

- 3** マルチスクリーンディスプレイへの投写を終了するには、ツールバーの[切断する]をクリックします。



Windows環境でお使いのときは、仮想ディスプレイのドライバーが有効になっているとマウスポインターを画面の表示領域外に移動できるため、マウスポインターがどこにあるかわからなくなったりすることがあります。仮想ディスプレイを使用しないときは、Virtual Displayの追加と削除の画面で仮想ディスプレイのチェックを外すと、マウスポインターが画面の表示領域内に戻ります。マルチスクリーンディスプレイを使用する際は、再びVirtual Displayの追加と削除の画面でチェックを付けてください。
チェックを外す操作は次を参照してください。

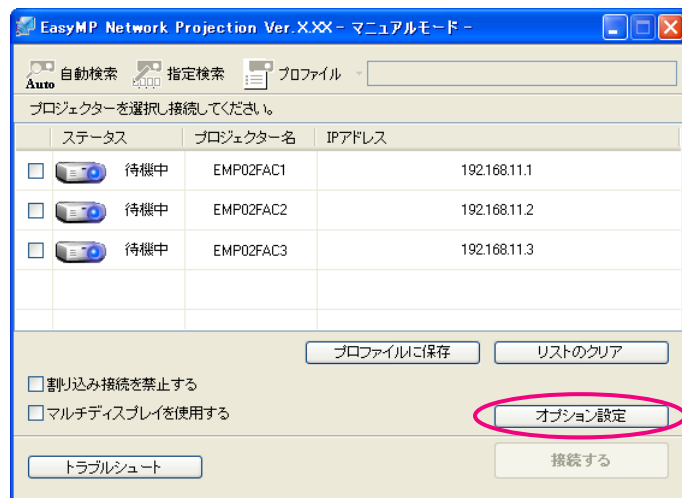
☛「仮想ディスプレイドライバーを有効にする（Windowsのみ）」 [p.24](#)



付録

EasyMP Network Projection起動時の処理方法などを設定します。
オプション設定は、EasyMP Network Projectionのメイン画面から呼び出します。

- 1 EasyMP Network Projectionのメイン画面で[オプション設定]をクリックします。



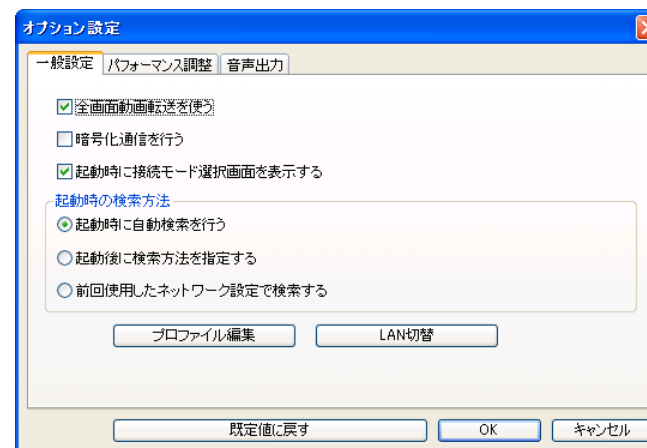
オプション設定画面が表示されます。

- 2 各項目を設定します。
設定項目の詳細は次項で確認してください。設定し終わったら、[OK]をクリックしてオプション設定画面を閉じます。



ツールバーのをクリックして、オプション設定を呼び出すこともできます。ツールバーからオプション設定を呼び出すと、一般設定タブは表示されません。

一般設定タブ

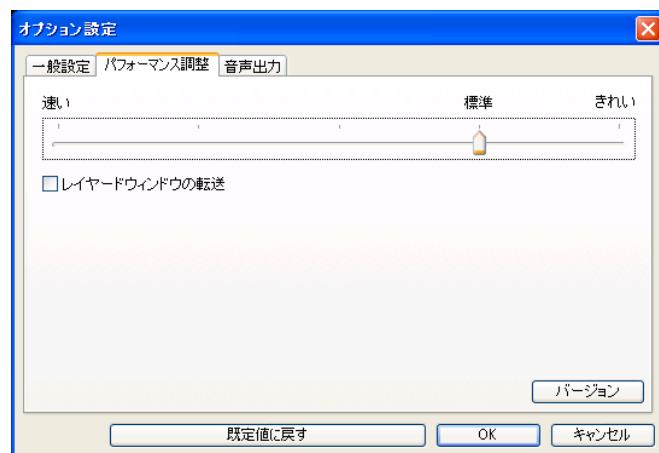


全画面動画転送を使う	動画ファイルを全画面表示するときに使います。動画再生に対応していないプロジェクターでは、この項目は設定できません。
暗号化通信を行う	チェックを付けるとデータを暗号化して送信します。データを傍受されても、解読されません。かんたんモードで使うときは必ず設定してください。
起動時に接続モード選択画面を表示する	EasyMP Network Projectionの起動時にかんたんモード/マニュアルモードの選択画面を表示する/しないを設定します。 いつも起動方式が決まっているときはチェックを外してください。
起動時の検索方法	EasyMP Network Projection起動時に実行するプロジェクターの検索方法を以下から選択します。 [起動時に自動検索を行う] [起動後に検索方法を指定する] [前回使用したネットワーク設定で検索する]
プロファイル編集	プロファイル編集ダイアログが表示されます。 ☛「プロファイルを管理する」p.19

LAN切替	Windowsのみ 複数のネットワークアダプターを使えるコンピューターで、検索に使うアダプターを切り替えるときに使います。 初期設定ではすべてのネットワークアダプターを使用して検索します。
既定値に戻す	[オプション設定]のすべての調整値を初期値に戻します。[一般設定]の[プロファイル編集]および[LAN切替]の設定内容は保持されます。

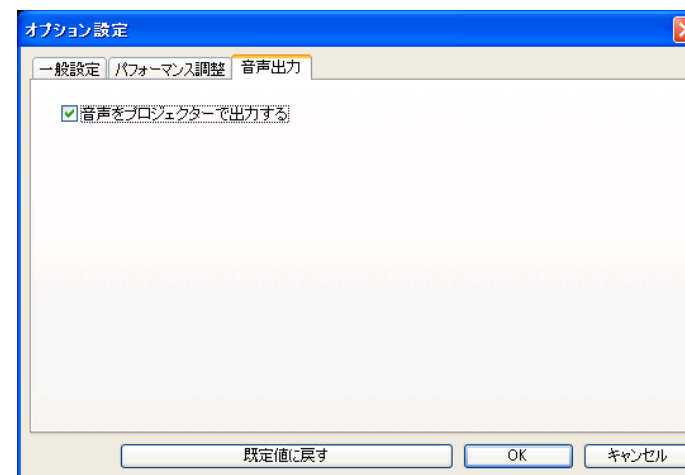
レイヤードウィンドウの転送	Windowsのみ (Windows Vista および Windows 7は除く) コンピューター画面に表示されているメッセージなどがプロジェクターで投写されないときは、レイヤードウィンドウが使われています。チェックを付けるとレイヤードウィンドウを使ったメッセージなども投写されます。 コンピューターの画面上でマウスカーソルのちらつきが気になるときは、チェックを外します。
既定値に戻す	[オプション設定]のすべての調整値を初期値に戻します。[一般設定]の[プロファイル編集]および[LAN切替]の設定内容は保持されます。

パフォーマンス調整タブ



調整用スライダー	[速い]、[標準]、[きれい]でパフォーマンスを調整できます。 動画の投写映像が途切れるような場合は、[速い]側へ設定してください。
-----------------	---

音声出力タブ



音声をプロジェクターで出力する	コンピューターの音声を転送してプロジェクターで出力するときに、チェックを付けます。チェックを外すと、音声はコンピューターから出力されます。
------------------------	---

既定値に戻す

[オプション設定]のすべての調整値を初期値に戻します。[一般設定]の[プロファイル編集]および[LAN切替]の設定内容は保持されます。



音声を転送できるのは1台のプロジェクターに対してのみです。複数台のプロジェクターに接続しているときは、音声を転送できません。

アンインストールを開始する前に次の点にご留意ください。

- Windowsを搭載したコンピュータからEasyMP Network Projectionをアンインストールするには、管理者権限が必要です。
- 起動中のアプリケーションはすべて終了してからアンインストールを行ってください。

Windows 2000の場合

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 [プログラムの変更と削除]をクリックします。
- 4 EasyMP Network Projectionを選択して、[変更/削除]をクリックします。

Windows XPの場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 EasyMP Network Projectionを選択して、[削除]をクリックします。

Windows Vista/Windows 7の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。

- 3 EasyMP Network Projectionを選択して、[アンインストール]をクリックします。

Mac OSの場合

- 1 [アプリケーション]フォルダーを開きます。
- 2 [EasyMP Network Projection]フォルダーを開き、EasyMP Network Projection Uninstaller.appをダブルクリックします。

EasyMP Network Projectionを起動してコンピューターの映像を投写するときは、以下の制限事項があります。ご確認ください。

対応解像度

投写可能なコンピューターの画面解像度は、次のとおりです。UXGA▶▶を超える解像度のコンピューターとは接続できません。

- VGA▶▶ (640x480)
- SVGA▶▶ (800x600)※
- XGA▶▶ (1024x768)※
- SXGA▶▶ (1280x960)
- SXGA (1280x1024)※
- SXGA+ (1400x1050)※
- WXGA (1280x768)
- WXGA (1280x800)
- WXGA+ (1440x900)
- UXGA (1600x1200)

※マルチスクリーンディスプレイ機能時の対応解像度

縦横比が特殊な画面のコンピューターの場合は、コンピューターおよびプロジェクターの画素数に応じて、画像の品質をなるべく損なわないように調整された解像度に拡大・縮小されて投写されます。

このとき、解像度によっては縦方向または横方向の余白部分が黒く投写される場合があります。

表示色

投写可能なコンピューターの画面の色数は、次のとおりです。

Windows	Mac OS
16ビットカラー	約32000色(16ビット)
32ビットカラー	約1670万色(32ビット)

マルチスクリーンディスプレイの動作保証は16ビット・32ビットカラーです。

その他

- 無線LANの通信速度が低速の場合、接続しても切断されやすい状態となり、予期しないときに切断されることがあります。
- DirectXの一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示できない場合があります。(Windowsのみ)
- MS-DOSプロンプトの全画面表示は投写できません。(Windowsのみ)
- コンピューター上の画面とプロジェクターが投写する画像は完全に一致しないことがあります。

Windows VistaおよびWindows 7使用時

Windows VistaおよびWindows 7搭載のコンピューターでEasyMP Network Projectionをお使いのときは、以下の点にご留意ください。

Windows フォト ギャラリーまたはLive フォト ギャラリー投写時の制限

EasyMP Network Projectionを起動中にWindows フォト ギャラリーまたはLive フォト ギャラリーを起動すると、以下2点の制限があります。

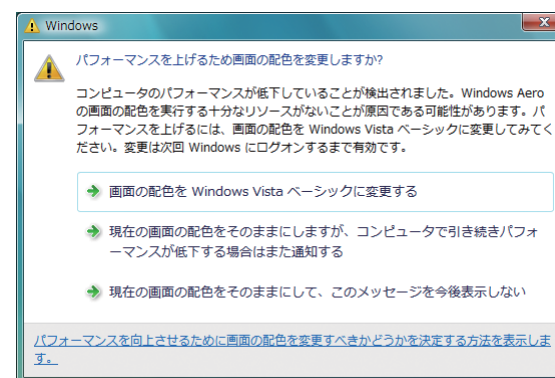
- Windows フォト ギャラリーまたはLive フォト ギャラリーで、スライドショーを行うとシンプルモードで再生されます。
ツールバーが表示されませんので、Windowsエクスペリエンス インデックスのスコアに関わらず、再生中にテーマ(効果)の変更はできません。
いったんシンプルモードになると、EasyMP Network Projectionを終了してもWindows フォト ギャラリーまたはLive フォト ギャラリーを継続している間はモード変更できません。Windows フォト ギャラリーまたはLive フォト ギャラリーを再起動してください。
- 動画再生ができません。

Windows Aeroの制限

お使いのコンピュータのウィンドウデザインがWindows Aeroのときは、以下2点の制限があります。

- EasyMP Network Projectionのオプション設定のレイヤードウィンドウの転送に関わらずレイヤードウィンドウが投写されます。
例えば、EasyMP Network Projection のツールバーはレイヤードウィンドウの転送を無効にしていると、コンピュータの画面に表示されていても投写されないのですが、ツールバーも投写されます。

- EasyMP Network Projectionでコンピュータとプロジェクターをネットワーク接続してから何分かすると以下のメッセージウィンドウが表示されることがあります。
[現在の画面の配色をそのままにして、このメッセージを今後表示しない]を選択することをお勧めします。この選択はコンピュータを再起動するまで有効です。



Windows Media Center投写時の制限

Windows Media Centerの映像は、全画面表示した状態で投写できません。Window表示の状態にすると投写できます。

投写したいプロジェクターに接続できない

プロジェクターとコンピューターを無線LAN接続できない

確認	対処法
無線LANユニットがセットされていますか？	プロジェクターに無線LANユニットが確実にセットされているか確認します。
SSIDがアクセスポイントのSSIDと同じではありませんか？ (かんたんモードの場合)	アクセスポイントのSSIDと異なるSSIDを設定してください。 SSIDの設定はプロジェクターの[ネットワーク]メニューから行います。 詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 ☛ 『取扱説明書』「ネットワークメニュー」
有線LANのDHCP機能がオンになっていませんか？ (かんたんモードの場合)	環境設定メニューで[有線LAN] - [DHCP]設定を[オフ]にしてください。 詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 ☛ 『取扱説明書』「ネットワークメニュー」
コンピューターの省電力設定で無線LANが使用不可の設定になっていませんか？	無線LANを使用可能にしてください。
アクセスポイントおよびコンピューター、プロジェクターの間に障害物がありますか？	電波状況によってはプロジェクターが検索されずに見つからないことがあります。アクセスポイントおよびコンピューター、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。
コンピューター側の無線LANの電波が微弱な設定になっていませんか？	電波強度は、できるだけ最大でお使いください。
無線LANの方式は、プロジェクターが対応している規格ですか？	無線LANの方式を確認してください。プロジェクターの無線LAN方式について詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 ☛ 『取扱説明書』「ネットワークメニュー」
プロジェクターの無線LAN電源をオフに設定していませんか？	環境設定メニューの[無線LAN]で[無線LAN電源]を[オン]に設定してください。 プロジェクターの無線LAN設定について詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 ☛ 『取扱説明書』「ネットワークメニュー」
Mac OSのAirMacの設定は正しいですか？	AirMacが入になっているか確認してください。また、目的のアクセスポイントを選択しているか確認してください。

確認	対処法
同一のWEPキーを設定していますか？	[セキュリティ]で[WEP]を選択した場合は、アクセスポイントやコンピューターとプロジェクターを同じWEPキーに設定してください。 WEPキーについて詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 👉『取扱説明書』[ネットワークメニュー]

プロジェクターとコンピューターを有線LAN接続できない

確認	対処法
コンピューター側のLANカードや内蔵のLAN機能が使用できる状態になっていますか？	[コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア]のデバイスマネージャでLANが有効になっているか確認してください。
ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違って接続されているときは、接続し直します。

プロジェクターとコンピューターをネットワーク接続できない

確認	対処法
プロジェクター側でネットワーク設定画面を表示していませんか？	プロジェクター側でのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻してください。プロジェクター側でネットワーク設定画面を表示しているときは、EasyMP Network Projectionでの接続ができません。
EasyMP Network Projectionで、使用するネットワークアダプターを正しく選択しましたか？	お使いのコンピューターが複数のLAN環境を持っている場合は使用するネットワークアダプターを正しく選択していないと接続できません。Windows搭載のコンピューターをお使いのときは、EasyMP Network Projectionを起動し、[オプション設定] - [LAN切替]で使用するネットワークアダプターを選択してください。 👉「一般設定タブ」p.32
ファイアウォールを解除または例外に登録していますか？	ファイアウォールを解除または例外に登録をしたくないときは、ポートを開ける設定をしてください。EasyMP Network Projectionで使用するポートは3620、3621、3629です。
SSIDの設定が異なっていませんか？ (マニュアルモードの場合)	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。 SSIDの設定はプロジェクターの[ネットワーク]メニューから行います。 詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 👉『取扱説明書』[ネットワークメニュー]

確認	対処法
アクセスポイント側でMACアドレス▶制限、ポート制限などの接続拒否機能を正しく設定していますか？ (マニュアルモードの場合)	アクセスポイント側でプロジェクターを接続許可に設定してください。
アクセスポイントとプロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されていますか？ (マニュアルモードの場合)	DHCPを使用しない場合は各設定を合わせてください。 DHCPの設定はプロジェクターの[ネットワーク]メニューから行います。 詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 ☞『取扱説明書』『ネットワークメニュー』
アクセスポイントとプロジェクターのサブネットが異なっていませんか？ (マニュアルモードの場合)	EasyMP Network Projectionの[指定検索]を選択し、IPアドレスを指定して接続してください。 ☞「IPアドレスやプロジェクター名を指定して検索（マニュアルモードのみ）」p.16
DHCPを有効にしていますか？ (マニュアルモードの場合)	マニュアルモードでDHCPを[オン]に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LANの待機状態になるのに時間がかかります。

EasyMP Network Projectionで接続して、映像が投写されたままになって他のコンピューターから接続できない

確認	対処法
プレゼンテーションした人がネットワーク接続を切断せずに会議室から出てしまっていないですか？	EasyMP Network Projectionでは、コンピューターとプロジェクターが接続中に別のコンピューターから接続しようとする、先に接続していたコンピューターとの接続を切断し、後から接続の操作をしたコンピューターと接続できます。 したがって、プロジェクターキーワードがプロジェクターに設定されていないときや、プロジェクターキーワードを知っているときは、接続操作をすれば現在の接続が切断され、プロジェクターと接続できます。 プロジェクターキーワードがプロジェクターに設定されていて、プロジェクターキーワードがわからないときは、プロジェクター側を再起動してから再接続します。

接続モードを選択できない、切り替えられない

確認	対処法
常に同じ接続モードで起動するように設定していませんか？	[オプション設定]の[一般設定]タブで、[起動時に接続モード選択画面を表示する]にチェックを付けます。EasyMP Network Projectionを再起動すると、接続モードを選択する画面が表示されます。

画面が投写されない

マルチスクリーンディスプレイ機能実行時に、任意のディスプレイへスライドショーの表示ができない

確認	対処法
PowerPoint2002以前のバージョンをお使いですか？ (Windowsの場合)	仮想ディスプレイ ▶を2つ以上設定してお使いになるときは、PowerPoint2003以降をお使いいただくか、仮想ディスプレイを1つにしてスライドショー表示をしてください。

マルチスクリーンディスプレイ機能実行時に、コンピューターの画面上からアプリケーションが表示されなくなってしまう

確認	対処法
他のアプリケーションが 仮想ディスプレイ ▶上で動作していませんか？ (Windowsの場合)	Virtual Displayをインストールした場合、他のアプリケーションが仮想ディスプレイ上で動作することがあります。その場合は画面プロパティからVirtual Displayを無効にしてください。

マウスカーソルがコンピューターの画面上に表示されない

確認	対処法
Virtual Displayをインストールしていますか？ (Windowsの場合)	仮想ディスプレイ ▶上にマウスカーソルが移動しました。Virtual Displayの追加と削除の画面で仮想ディスプレイのチェックを外すと、マウスポインターが画面の表示領域内に戻ります。

マウスカーソルがちらつく

確認	対処法
[レイヤードウィンドウの転送]にチェックを付けていませんか？	マウスカーソルのちらつきが気になるときは、[パフォーマンス調整]タブで[レイヤードウィンドウの転送]のチェックを外してください。 ☛「パフォーマンス調整タブ」 p.33

EasyMP Network Projectionで接続して映像が表示されない、表示が遅い

確認	対処法
Media Playerで動画を再生したり、スクリーンセーバーのプレビューを実行しようとしませんでしたか？	コンピューターによっては、Media Playerによる動画再生画面が表示されなかったり、スクリーンセーバーのプレビューが正常に表示されないことがあります。
WEP暗号化を有効にしたり、複数台のプロジェクターに接続していませんか？	WEP暗号化有効の場合や、複数台接続を行ったときは、表示速度が低下します。
無線LANが802.11b/gでかんたんモードでお使いではありませんか？	電波の環境によっては動画の映像や音が止まる場合があります。

EasyMP Network Projectionで接続してプロジェクターから音がでない

確認	対処法
1台のコンピューターから複数台のプロジェクターに接続していませんか？	音声を転送できるのは1台のプロジェクターに対してのみです。他のプロジェクターとの接続を切断してください。
オプション設定で音声をコンピューターから出力するように設定していませんか？	オプション設定の[音声出力]タブで、[音声をプロジェクターで出力する]にチェックします。 🖱️「音声出力タブ」 p.33

EasyMP Network Projectionで接続して使用しているときにPowerPointのスライドショーが動作しない

確認	対処法
PowerPointを起動中に、EasyMP Network Projectionを起動しませんでしたか？ (Windowsの場合)	EasyMP Network Projectionで接続する際は、事前にPowerPointを終了してください。起動したまま接続するとスライドショーが動作しなくなることがあります。

EasyMP Network Projectionで接続してOfficeアプリケーション使用時に画面が更新されない

確認	対処法
マウスを絶えず動かし続けていませんか？	マウスカーソルの移動を止めると画面が更新されます。画面がなかなか更新されない場合は、マウスカーソルの動きを止めてください。

エラーメッセージ一覧

プロジェクターと接続できない

エラーメッセージ	対処法
ご使用のEasyMP Network Projectionのバージョンではプロジェクターに接続できません。最新のEasyMP Network Projectionをインストールしてください。	プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMからEasyMP Network Projectionをインストールして接続してください。 EasyMP Network Projectionの最新バージョンは以下のWebサイトからもダウンロードできます。 http://www.epson.jp/download/

EasyMP Network Projection実行時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
プロジェクターとの接続に失敗しました。	再度、接続の操作をします。それでも接続できない場合は、コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。 プロジェクターのネットワーク設定は[ネットワーク]メニューから行います。 詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 ☛『取扱説明書』『ネットワークメニュー』
キーワードが一致しません。プロジェクターに表示された、正しいキーワードを入力してください。	LAN待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
選択されたプロジェクターは使用中です。接続処理を続行しますか？	別のコンピューターが接続しているプロジェクターに接続しようとしてしました。 [はい]をクリックすると、プロジェクターと接続します。このとき、接続していた別のコンピューターとプロジェクターの接続は切断されます。 [いいえ]をクリックすると、プロジェクターと接続しません。別のコンピューターとプロジェクターの接続は保持されます。
EasyMP Network Projectionの初期化に失敗しました。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。それでもメッセージが出るときは、EasyMP Network Projectionをいったんアンインストールして、その後もう一度EasyMP Network Projectionをインストールしてください。 ☛「インストールの方法」p.7
キーワードが間違っていたため接続できませんでした。	プロジェクターキーワードが設定されているプロジェクターへの接続時に、間違ったプロジェクターキーワードを入力しました。 プロジェクターキーワードは、LAN待機画面に表示されていますので確認してください。 ☛「コンピューター側の操作」p.11

エラーメッセージ	対処法
ネットワークアダプターの情報取得に失敗しました。	次の点を確認します。 • コンピューターにネットワークアダプターが装着されていますか。 • コンピューターに、使用するネットワークアダプターのドライバーがインストールされていますか。 • ネットワークアダプターが有効になっていますか。 確認後、コンピューターを再起動して、もう一度接続の操作を行います。 それでも接続できない場合は、次を確認してください。 コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。 プロジェクターのネットワーク設定は[ネットワーク]メニューから行います。 詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 📖『取扱説明書』「ネットワークメニュー」
SXGAを超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。コンピューターの解像度を下げて再接続してください。	接続先のプロジェクターの中にELP-735があります。コンピューターの画面の解像度を、SXGA(1280x1024)以下に変更してください。
応答しないプロジェクターが存在します。	複数のプロジェクターに同時に接続しようとしたましたが接続できませんでした。コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。 プロジェクターのネットワーク設定は[ネットワーク]メニューから行います。 詳しくは、以下のマニュアルをご覧ください。 📖『取扱説明書』「ネットワークメニュー」
プロジェクターに表示されたキーワードを入力してください。	LAN待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
USB Displayが起動しているため、本アプリケーションは起動できません。	USBディスプレイを終了してからEasyMP Network Projectionを起動してください。
プロジェクターから音声を出力するには、PowerPoint、またはWindows Media Playerなどを再起動してください。	PowerPointまたはメディアプレーヤーを再起動するとプロジェクターから音声が出力されます。
音声出力を有効にするためには、再起動する必要があります。すぐ再起動するには「はい」を、後で再起動するには「いいえ」を選択してください。	音声をプロジェクターに転送して再生するときは、「はい」を選択してコンピューターを再起動してください。
クイックワイヤレスが起動しているため、本アプリケーションは起動できません。	クイックワイヤレスを終了してからEasyMP Network Projectionを起動してください。
無線LANの電源がOFFになっています。無線LANの電源をONにして、再度検索を行ってください。	コンピューターの無線LANスイッチをオンにしてから、再度プロジェクターの検索をしてください。

本書で使用している用語で本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

MACアドレス	Media Access Controlアドレスの略です。MACアドレスはネットワークアダプターごとの固有のID番号です。すべてのネットワークアダプターは1つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプター間の送受信が行われます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのことを呼びます。
UXGA	画面サイズの規格で、横1,600ドット×縦1,200ドットのことを呼びます。
アドホック	無線LANの通信方式の一つで、アクセスポイントを経由せずに機器同士が直接通信を行う方式です。同時に2台以上の機器と通信することはできません。
仮想ディスプレイ	1台のコンピューターから複数台のディスプレイに画面出力を行います。複数台のディスプレイを使って仮想的な大画面を実現します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

表記について

Microsoft® Windows® 2000 operating system

Microsoft® Windows® XP Professional operating system

Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system

Microsoft® Windows Vista® operating system

Microsoft® Windows® 7 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」と表記しています。また、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 2000/XP/Vista/7のように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.4.x

Mac OS X 10.5.x

Mac OS X 10.6.x

Mac OS X 10.7.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「Mac OS X 10.7.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記します。

商標について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、Mac OS、iMacは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、PowerPoint、Windows □ゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について

本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2011. All rights reserved.

412186500JA

数字・アルファベット

LAN切替	33
SSID	13

ア

一般設定	32
オプション設定	13, 32
音声出力	33
音声をプロジェクターで出力する	33

カ

仮想ディスプレイ	23, 24
画面のプロパティ	26
画面プレビュー	15
かんたんモード	9, 10, 11

サ

指定検索	12, 16
自動検索	12
信号強度	13, 15
ステータス	12
制限事項	36
全画面動画転送を使う	32
操作対象プロジェクターの選択	14

タ

ツールバー	14
ディスプレイ	13
ディスプレイ環境設定	27
ディスプレイのプロパティ	26
ディスプレイをミラーリング	28
動画再生モード	15

トラブルシュート	13
----------------	----

ハ

パフォーマンス調整	33
フォルダー作成	20
複製	19
プレゼンテーションモード	5
プロジェクター制御	14
プロファイル	13
プロファイルに保存	13
プロファイル編集	19, 32

マ

マニュアルモード	9, 10, 11
マルチスクリーンディスプレイ	23, 24
マルチディスプレイを使用する	13
名称変更	20

ラ

リストのクリア	13
リストの更新	13
レイヤードウィンドウの転送	33

ワ

割り込み接続を禁止する	13
-------------------	----